2019年度 宇都宮大学免許状更新講習一覧

【 主な受講対象者について 】　例） 小・中教諭（理科）・・・・・小・中学校教諭の方で、担当教科が理科の方を主な受講対象者としています。他の教科の方も受講できますので、講習概要で各自ご判断ください。

※講習名称の前の（）は、システム内の講習検索画面の専門科目を示しています。 ※同一講習の、重複申込・受講はできません。

【スケジュール】必修領域：8時40分～16時10分，選択必修領域，選択領域：9時00分～16時20分(講習終了後別途アンケート記入時間があります。)

必修領域

※教育学部8号館A棟玄関前で受付を行います。（7時30分～8時40分）

※筆記用具は各自ご持参ください。

No	講習名称	概要	担当講師	期間	時間数	定員	対象職種	受講対象者	会場	準備物・課題等
1	宇都宮大学必修講座A	国の教育政策や世界の教育の最新の動向を踏まえ，子どもの発達に関する脳科学，心理学等の最新知見を学んで授業改善やカウンセリングマインドの向上に生かし，発達障害などの課題や子どもの生活の変化を踏まえた集団形成の課題などについて，特別支援教育の知見を活かしながら考え，教員としての在り方を省察します。	池本　喜代正（教育学部教授） 久保田　善彦（玉川大学　教授） 川原　誠司（教育学部准教授）	7月27日(土)	6時間	360名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館 D棟1階　8D11 E棟1階　8E11 6号館 A棟1階　6A11	受付：教育学部8号館 A棟1階玄関前 講習日当日，受付場所で出席確認を行います。 受付で配付する教室割振表（受講者IDごとに受講会場が異なります）に従って，それぞれの会場で講習を受講してください。
2	宇都宮大学必修講座B		池本　喜代正（教育学部教授） 丸山　剛史（教育学部准教授） 石川　隆行（教育学部准教授）	8月3日(土)	6時間	360名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員		
3	宇都宮大学必修講座C		司城　紀代美（教育学研究科准教授） 丸山　剛史（教育学部准教授） 久保田　愛子（教育学部助教）	8月10日(土)	6時間	360名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員		
4	宇都宮大学必修講座D		司城　紀代美（教育学研究科准教授） 上原　秀一（教育学部准教授） 宮代　こずゑ（教育学部助教）	8月12日(月)	6時間	360名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員		

選択必修領域

※各会場（教室）で受付を行います。（8時30分～9時00分）

※筆記用具は各自ご持参ください。

No	講習名称	概要	担当講師	期間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
1	子どもの貧困とスクールソーシャルワーク	平成26年8月子どもの貧困対策推進法にもとづいて閣議決定された大綱では，免許状更新講習などを通じて，教員が「子どもの貧困」における現状を把握し，その支援を考える機会を持つことの重要性が強調されている。そこで本講習では，子どもの貧困の現状を理解し，その支援に向けた具体的な方策を検討するとともに，近年，子どもの貧困への対応のため，学校とともに地域や家庭と協働してその解決にあたることが期待されているスクールソーシャルワーカーについての基本的な理解を目的とする。	長谷川　万由美 （教育学部教授） 土崎　雄祐 （茨城大学　社会連携センター講師）	7月6日(土)	6時間	70名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
2	幼稚園・保育所の防災と減災・防災教育の基礎	東日本大震災以降，幼稚園や保育所での災害時の対応や減災・防災教育に関心が高まってきている。そこで本講習では，就学前の子どもに対する減災・防災教育の基本を理解するとともに，幼稚園や保育所における災害時対応について学ぶことを目的とする。またグループワーク等を通じ，就学前教育における子どもの安全をどのように確保するのか具体的な知識や技術を確認する。保幼小連携推進の観点から小学校に勤務する教員も対象とする。	長谷川　万由美 （教育学部教授） 土崎　雄祐 （茨城大学　社会連携センター講師）	7月13日(土)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	幼・小・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館D棟1階 8D11	受付：8D11会場 午前：No3講習と合同授業 （8D11） 午後：8号館C棟2階 大会議室 に移動します。
3	学校防災と減災・防災教育の基礎	東日本大震災以降，学校における減災・防災教育や，災害時の避難所運営など地域の拠点としての学校の役割への期待が高まってきている。そこで本講習では，学校における減災・防災教育の基本を学ぶとともに，グループワークなどを通じて地域の中での学校の災害対応力を高めるための知識を得ることを目的とする。	近藤　伸也 （地域デザイン科学部准教授）	7月13日(土)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館D棟1階 8D11	受付：8D11会場 午前：No2講習と合同授業 （8D11） 午後：UUプラザ2階 コミュニティフロア に移動します。
4	学校における危機管理上の課題	学校における危機管理・安全管理について，その対象や目的，危機発生の際の対応などについて基本的な理解を深めるとともに，学校内外の安全確保や情報セキュリティの視点から危機管理上の課題について考察します。講座の前半は，講義形式で進め，後半は，学校現場で起こりうる危機の未然防止と発生後の対応について，具体的な事例を取り上げながら，グループ協議等の演習を通して対応策を検討し合います。	上岡　利夫 （教職センター　特任教授）	7月21日(日)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
5	進路指導及びキャリア教育の政策動向と教育実践	講習では，現代的な教育課題の一つである「進路指導及びキャリア教育」に関して，①「進路指導及びキャリア教育」の政策動向，②問題の背景を確認しつつ，③生徒が自信をもって職業社会に移行していった教育実践を取り上げ，要点ないしは特徴を説明するとともに，意見交換・話し合いの機会を設け，交流により理解を深めることができるようにする。	丸山　剛史 （教育学部准教授）	7月28日(日)	6時間	50名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
6	絵本の読み合い遊びと子どもの育ち	新学習指導要領の教育課程編成の一般方針にも言語活動の充実について触れているが，絵本を媒介とした相互作用が，子どもの認知発達，特に，ことばの発達によい影響を与えることは多くの研究知見により明らかである。近年では，情動の調整や発達に影響することも分かってきた。本講習では，絵本を介し相互主体的に学びあう絵本の読み合い遊びをアクティブラーニング的観点で導入した幼稚園，小学校，特別支援学校の実践とその指導の工夫や改善への取り組みを紹介し，子どもの発達における主体的な学びの意味を検討する。	石川　由美子 （教育学部准教授）	7月14日（日）	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	幼・小・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティ フロア	【開講日・定員・会場変更】(2019.3.12) 7/28　→　7/14
7	教育法規に関する動き	法令改正及び国の教育関連審議会での議論の状況等について，最新の動向や改正された法令の内容を確認すると共に，それらが学校現場に及ぼす影響について理解を深めることを目的とする。特に児童・生徒の学習や教員の身分に関わる項目など，学校現場での教育に密接に関わる項目に着目していく。実際の法令改正の論点について，受講生同士の意見交換の時間も積極的に設けていきたい。	小野瀬　善行 （教育学研究科准教授）	7月28日(日)	6時間	120名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館D棟1階 8D11	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
8	生徒の学びに寄り添った英語授業改善の工夫	「英語」の授業改善をいかに目指していけばよいのだろうか―。受講者には日々の授業を振り返っていただきながら，授業改善について講師とともに協同的に考えていきます。その際，「教師がどう教えるのか」という視点のみならず，「学習者が何をどう学びたいのか」という視点をも取り入れながら，考察を進めます。	田村　岳充 （教育学部助教）	7月28日(日)	6時間	35名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高教諭 （英語） 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
9	「特別の教科　道徳」の理解と授業づくり	小学校は平成30年度，中学校は平成31年度より実施される「特別の教科　道徳」の理解及び道徳科における授業デザインを中心に講習を行う。その際，小学校，中学校で扱う読み物教材を活用し，授業展開や発問などを実践事例を参考にしながら検討を行う活動を予定している。	和井内　良樹 （教育学研究科准教授）	7月28日(日)	6時間	100名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	
10	「特別の教科　道徳」の理解と授業づくり			8月4日(日)	6時間	100名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	
11	学習指導要領の改訂の動向等	戦後における各時期の学習指導要領の意義と背景を，現在の視点から捉え直すと同時に，平成30年度以降（幼，小，中，高校それぞれ）順次実施が予定されている新指導要領（幼の場合は新教育要領）の意義と背景について考察します。そしてこの考察をふまえて，それぞれの現場に根付いた教育課程の改革をどのように進めていけばよいか，実践的，具体的なヒントを出来る限り豊富に提供したいと考えています。	青柳　宏 （教育学研究科教授）	8月4日(日)	6時間	120名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館D棟1階 8D11	
12	様々な問題に対する組織的対応の必要性	学校をめぐる様々な問題に対する組織的な対応の必要性や保護者・地域社会，関係機関・団体等との連携協力の在り方について考察を加え，学校組織の一員としての自らの役割と関連づけてとらえていきます。講座の前半は講義形式を中心に進め，後半はグループ協議等の演習を通して，学校におけるさまざまな問題への組織的対応の必要性とその具体策を学んでいきます。	萩原　伸二 （栃木県総合教育センター専門員）	8月4日(日)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
13	学校における危機管理上の課題	学校における危機管理・安全管理について，その対象や目的，危機発生の際の対応などについて基本的な理解を深めるとともに，学校内外の安全確保や情報セキュリティの視点から危機管理上の課題について考察します。講座の前半は，講義形式で進め，後半は，学校現場で起こりうる危機の未然防止と発生後の対応について，具体的な事例を取り上げながら，グループ協議等の演習を通して対応策を検討し合います。	上岡　利夫 （教職センター　特任教授）	8月11日(日)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
14	教育の情報化	情報活用能力の育成と情報を創造する能力の育成は学校教育の重要な役割として位置づいています。そのため全ての教員が情報を適切に活用し，プログラミング教育等を通して情報を創造できる人材育成を目指した学習指導を設計し，実践できる教員が求められています。この講習では，これらのことについて国の動向や実践例を基に議論します。また，学習指導用の教材コンテンツ，情報モラルの最近の状況などについても紹介します。	川島　芳昭 （教育学部准教授）	8月11日(日)	6時間	50名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 計算機演習室	
15	社会の変化と学校の対応	社会の変化と学校を巡る近年の状況変化や，そこで求められている学校の対応について，新聞記事や統計資料を用いて事実を確かめ，事例に基づいてこれからの学校のあり方を考えます。講義にグループディスカッションを交えて行います。	松本　敏 （教育学研究科教授）	8月11日(日)	6時間	120名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	
16	社会の変化と学校の対応			8月18日(日)	6時間	120名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	
17	学習指導要領の改訂の動向等	戦後における各時期の学習指導要領の意義と背景を，現在の視点から捉え直すと同時に，平成30年度以降（幼，小，中，高校それぞれ）順次実施が予定されている新指導要領（幼の場合は新教育要領）の意義と背景について考察します。そしてこの考察をふまえて，それぞれの現場に根付いた教育課程の改革をどのように進めていけばよいか，実践的，具体的なヒントを出来る限り豊富に提供したいと考えています。	青柳　宏 （教育学研究科教授）	8月18日(日)	6時間	120名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館D棟1階 8D11	
18	様々な問題に対する組織的対応の必要性 【 不 開 講 】	学校をめぐる様々な問題に対する組織的な対応の必要性や保護者・地域社会，関係機関・団体等との連携協力の在り方について考察を加え，学校組織の一員としての自らの役割と関連づけてとらえていきます。講座の前半は講義形式を中心に進め，後半はグループ協議等の演習を通して，学校におけるさまざまな問題への組織的対応の必要性とその具体策を学んでいきます。	萩原　伸二 （栃木県総合教育センター専門員）	8月18日(日)	6時間	60名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
19	持続可能な社会づくりに向けたアクティブ・ラーニングの理論と実践	本講習では，次期学習指導要領で示された「持続可能な社会づくり」に向けて早急な解決が望まれる環境や開発，人権や平和などに関わる地球的規模の諸問題を「主体的・対話的で深い学び」を通じて「知り」，その原因や解決策を「考え」，社会の中で「行動」していくための「アクティブ・ラーニング（参加型学習）」について検討する。具体的には，参加型・問題解決型の学習教材やワークショップを実際に体験するとともに，その基本的な考え方や方法論を概説する。	湯本　浩之 （留学生・国際交流センター教授）	8月22日(木)	6時間	48名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 国際学部 5号館B棟2階 ラーニング コモンズ2	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
20	就学前教育における発達障害の理解と支援	就学前教育において，発達障害の子どもや特別なニーズをもつ子どもたちをどのように理解し支援していけばよいかを事例検討を通して考える。また，多様な子どもたちがともに育っていくインクルーシブ保育のあり方，家庭への支援，保幼小の連携についても検討する。	司城　紀代美 （教育学研究科准教授）	9月7日(土)	6時間	40名	教　諭 養護教諭 栄養教諭	幼・小・ 特別支援学校 教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A33	

選択領域

※各会場（教室）で受付を行います。

※筆記用具は各自ご持参ください。

No	講習名称	概要	担当講師	期間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
1	（英語） 生徒との英語でのスモールトーク(small talk)を豊かにするための工夫	「英語」の授業において，生徒が自身の考えや気持ちを英語でより自由に表現するためには，教員はどのような指導を心掛ければよいのだろうか―。受講者には日々の授業を振り返っていただきながら，講師とともに考察していきます。その際，生徒とどのようなやりとりを行えばよいのか，また，生徒同士でどのような活動を行えばよいのかなどの点に特に留意しながら，実態に即して，具体的に検討します。	田村　岳充 （教育学部助教）	7月6日(土)	6時間	35名	教諭	小・中・高教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
2	（社会） 児童・生徒の地域理解をうながす地理情報の活用とフィールドワーク	本講座では，児童・生徒の身近な地域や，教師に訪問や見学の経験がない地域の，自然環境・歴史・産業・交通・文化などの特色を，授業でいきいきと伝えるための視点や方法を，地形図の読図，空中写真の判読，写真資料の活用などの実際の作業をつうじて学びます。また，グループ単位で会場周辺の街区を踏査し，観察結果を共有することにより，地域調査（フィールドワーク）に必要な基本的技能を獲得することをめざします。受講者は，USBメモリを用意してください。	松村　啓子 （教育学部教授）	7月6日(土)	6時間	40名	教諭	小・中・高・ 特別支援教諭 （社会・地歴）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 計算機演習室	USBメモリをご持参ください。また雨天時以外は野外観察を行いますので、帽子とクリップボード（あればで結構です）を用意し、歩きやすい服装で来てください。
3	（理科） 中学校理科の実験講習	中学校理科1分野における次の内容を，実験を中心に取り扱う。 光：蜃気楼，シュリーレン現象など，身近な屈折現象に関する実験を通じて，「見え方」に関する認識を深める。 電流と磁石：磁力線とは。超簡単モーターの仕組みを探る。 水溶液とイオン：酸・アルカリとはどういう性質か。電気泳動。化学電池の仕組み。 その他。	南　伸昌 （教育学部教授）	7月6日(土)	6時間	24名	教諭	中教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	実験中心ですので動きやすい軽装で来てください。 白衣，（実験用）メガネをお持ちの方はご用意ください。（無くても受講できます。）
4	（共通） 深い学びを実現するカリキュラムマネジメント	授業の動画や記録をもとに，グループごとに子ども達の学習の様子について議論します。子ども達の深い学びを実現するためには，どのような学習指導をどのようにマネジメントして，年間の指導をすればよいかを話し合います。	溜池　善裕 （教育学部教授）	7月7日(日)	6時間	40名	教諭	小・中教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 8A21	
5	（音楽） 音楽を形づくる要素と音楽の仕組み―歌唱・器楽などの楽曲を通して学ぶ―	現行の学習指導要領，および平成29年告示の新・学習指導要領に示された音楽教科の内容は，以前に比べ，音楽のしくみや構造を児童・生徒に理解・感得させる事項が大幅に強化されています。学校で音楽を教える教師には，音楽の理論や形式の知的理解だけでなく，それを実技・実践に生かせる能力が必要です。本講習では，音楽理論・音楽分析の基礎を歌唱・器楽等の楽曲を通して学び，それに則ったピアノ伴奏法等の実践も講じます。	木下　大輔 （教育学部教授）	7月7日(日)	6時間	25名	教諭	小・中・高 音楽担当教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	次の書籍を教科書として使用するので，用意し持参すること。 木下大輔『増補版・こだま号で行こう！こどものためのピアノ曲集』（カワイ出版・2019年5月新刊）。「カワイ出版オンライン」および「宇都宮大学生協峰店」で販売取り扱いします。
6	（理科） やさしい伝熱と熱力学	我々の生活を取り巻く熱の流れに関し，伝熱工学と熱力学の観点から，熱が伝わる仕組みや熱の利用方法を基礎からわかりやすく解説する。熱が伝わる仕組みや熱の特性を児童・生徒に教え理解させることにより，熱を通して，科学への興味を引き出したい。また，これらの知識の応用として，普段の生活をより快適にする方法，効率よく，かつ，安全に調理を行う方法，火傷に対して適切で迅速な処置方法についても解説する。	二宮　尚 （工学研究科准教授）	7月7日(日)	6時間	80名	教諭 養護教諭 栄養教諭	小・中・高教諭 （理科） 養護教諭 栄養教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A33	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
7	（理科） 小学校理科の実験講習	実験や工作を通じて，小学校理科の次の内容を扱う。 ・燃焼の仕組み：炎の性質，燃える条件，固体・液体・気体の燃え方の違い。 ・水溶液の性質：酸・アルカリと物質の安定性，身の回りの指示薬。 ・電気の利用：発電・蓄電，電気の変換・利用，電磁石。 ・その他	南　伸昌 （教育学部教授）	7月13日(土)	6時間	24名	教諭	小教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	実験中心ですので動きやすい軽装で来てください。 白衣，（実験用）メガネをお持ちの方はご用意ください。（無くても受講できます。）
8	（音楽） 鍵盤ハーモニカ講座	小学校の音楽の授業や合奏で用いられることの多い，鍵盤ハーモニカ演奏の講座です。教育用楽器と思われがちですが，近年はプロのプレイヤーも登場しています。この講座では，様々な奏法や演奏スタイルについて勉強し，その成果を創意工夫に満ちた魅力ある合奏や児童等の演奏技術の向上に役立てていただきたいと考えています。最後に，受講生それぞれに演奏をしていただきます。	新井　恵美 （教育学部准教授）	7月13日(土)	6時間	25名	教諭	音楽に携わる 全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟2階 音楽ホール	32鍵以上の鍵盤ハーモニカをご持参ください。両手弾きにチャレンジしてみたい人は，ストラップ（ショルダーバッグの紐で可）をお持ちください。
9	（共通） 健康のための食と栄養	飽食の時代と呼ばれるように，日本人の栄養状態は豊かであると考えられています。一方で，偏食，過度なダイエット，肥満，食物アレルギーなど新たな問題が生じています。これらの問題は，体の中の栄養素の代謝の問題です。本講義では，栄養素の基礎的な化学と代謝をベースに，現代社会で起きている栄養問題について解説します。理科教員の化学に関する素養向上に資する内容ではないことを申し添えます。	蕪山　由己人 （農学部教授）	7月13日（土）～ 7月14日（日）	12時間	120名	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	**※2日間，12時間講習となります。**
10	（音楽） 音楽を形づくる要素と音楽の仕組み―歌唱・器楽などの楽曲を通して学ぶ―	現行の学習指導要領，および平成29年告示の新・学習指導要領に示された音楽教科の内容は，以前に比べ，音楽のしくみや構造を児童・生徒に理解・感得させる事項が大幅に強化されています。学校で音楽を教える教師には，音楽の理論や形式の知的理解だけでなく，それを実技・実践に生かせる能力が必要です。本講習では，音楽理論・音楽分析の基礎を歌唱・器楽等の楽曲を通して学び，それに則ったピアノ伴奏法等の実践も講じます。	木下　大輔 （教育学部教授）	7月14日(日)	6時間	25名	教諭	小・中・高 音楽担当教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	次の書籍を教科書として使用するので，用意し持参すること。 木下大輔『増補版・こだま号で行こう！こどものためのピアノ曲集』（カワイ出版・2019年5月新刊）。「カワイ出版オンライン」および「宇都宮大学生協峰店」で販売取り扱いします。
11	（国語） なぜ毛筆で学ぶのか－書写指導の誤解と真実－	子どもたちの道具セットを見られよ。セットの価格からして毛筆の品質は想像できる。それよりも，固まった筆，穂先の割れた筆で授業が行われている。体育では空気の抜けたボールを使うことはない。書写の教科書は改訂ごとに活字のような四角い文字になる。練習用紙と清書用紙，教師用の朱墨，それに〇〇書道展。無くてもよい順に並べた。いよいよ低学年に水書筆が導入される。何のために何をどう伝えるのか。板書の文字はもとより，ひらがなと楷書の正しい形，行書学習の本来的意義をお伝えする。	中島　宗晧 （地域デザイン科学部教授）	7月14日(日)	6時間	24名	教諭	小・中教諭 （国語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟2階 6A21 ・書道教室	受付　：　6A21教室 ①2Bの鉛筆1本（硬筆学習に使用），毛筆学習の道具一式を持参ください。（鉛筆以外はすべて教室で購入できます。） ②レポート「書写指導について」200字程度でご質問や疑問点をメールでお寄せください。 （shodoken@cc.utsunomiya-u.ac.jp） 7月5（金）まで。 ※冷房のない教室で実習を行います。軽装でお越しください。

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
12	（理科） やさしい光学と実験	光学は「物理の母」「産業の塩」と呼ばれる通り，目で見える現象の理解は科学・技術の原点とも言えるでしょう。現象の理解を通じて科学への興味を引き出す教育のために，日常生活で目にする光学現象について光科学の基礎から解説します。光が伝わる仕組みや光の特性を理解いただき，虹が見えたときには児童や生徒に光の波長や反射屈折を説明してください。光学の実験室の見学とともに，子供たちが驚くような空中表示の実習を行います。	大谷　幸利 （工学研究科教授） 山本　裕紹 （工学研究科准教授）	**8月3日(土)**	6時間	30名	教諭	小・中・高教諭 （理科・技術・工業）	宇都宮大学 陽東キャンパス オプティクス教育研究センター棟4階 コラボレーションルーム	スマートフォン（お持ちであれば，空中表示実験で使用します．） 【開講日変更】(2019.4.4) 7/14→8/3
13	（理科） 生物実験の基礎と応用	生物分野の実験は失敗することが多く授業では苦労を伴います。本講座では，中学校理科および高等学校生物分野の実験の中からいくつかを精選して，安全・確実に実験を成功させるポイントを解説します。また，教科書に記載されている実験をベースにした応用的内容の実験も紹介します。基礎的な内容を多く含むため，生物実験をあまり得意にされていない方向けの講義と考えて下さい。	井口　智文 （教育学部教授）	7月20日(土)	6時間	20名	教諭	中・高教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟4階 基礎生物学実験室	実験中心に講義を行いますので，白衣をご持参ください。（無くても受講は可能です。）
14	（共通） 個人として集団としての児童生徒をどう理解するか ーパーソナリティ理解の心理学ー	目の前の子どもたちをどのように理解するかは，教師個人の捉え方にも左右されます。本講座では，「パーソナリティ」という観点を学ぶことを通して，これまでのご自身の見方を振り返る機会にします。まず，ステレオタイプ的な見方を振り返ることからはじめ，子どもたち一人ひとりの特徴をどのように理解するかを考えます。そして，学校における集団としての子どもたちをどのように理解するか，ディスカッションを交えながら学びます。	白石　智子 （地域デザイン科学部准教授）	7月21日(日)	6時間	55名	教諭 養護教諭	全教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティフロア	
15	（英語） スリランカの紅茶農園コミュニティ支援を通した国際協力と交流	スリランカは，戦後イギリスから独立し，現在でも紅茶輸出量世界第2位を誇る。日本の紅茶も7割以上はセイロンティーである。しかし，生産国であるスリランカの紅茶農園とそこに居住する労働者コミュニティの生活環境はいまだに過酷である。消費者である世界各国の人や日本人は彼らとどのようにつながることができるのか？彼らの抱える問題点を，文化的側面や欧米の市民社会の取り組みなども紹介しながら，消費者としての責任や生産者との建設的なつながり構築の可能性をグループワークを通して考える。	栗原　俊輔 （国際学部准教授）	7月21日(日)	6時間	40名	教諭	小・中・高教諭 （社会・地歴・公民・英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 国際学部 5号館B棟3階 ラーニングコモンズ3	
16	（共通） 地域を志向した授業づくりの理論と実践	地域に根差した学習プログラムづくりや学校経営が叫ばれる一方，その具体的な実践に苦慮している現場の声も少なからず聞こえてくる。本講座では，受講者自身のこれまでの実践（あるいはこれから取り組みたい実践）を素材とし，成人教育の理論に依拠しながら学校と地域を結ぶより良いコーディネーションの方策を学んでいく。	土崎　雄祐 （茨城大学　社会連携センター講師）	7月21日(日)	6時間	50名	教諭	全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	

No	講習名称	概要	担当講師	期間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
17	（共通） ドラムサークルを活用した仲間づくりの理論と実践	本講座では，生徒・児童同士，生徒・児童と教員とのコミュニケーションを深めるための方法として，音楽、中でも打楽器が持つ心理的，身体的，社会的な作用に着目する。とくにドラムサークル(参加者が輪になって打楽器を演奏する音楽療法の一種)をとりあげ，ドラムサークルファシリテーションの基本を学びながら，学校の中で生かす方法を検討する。	長谷川　万由美 （教育学部教授）	7月27日(土)	6時間	60名	教諭 養護教諭	全教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 峰ヶ丘講堂	受付：UUプラザ2階 コミュニティフロア 会場：峰ヶ丘講堂 ※女性の受講生は，パンツ系でのご参加をおすすめします。ジェンベなど，脚で挟んで演奏する楽器も使うためです。
18	（共通） ドラムサークルを活用した仲間づくりの理論と実践		長谷川　万由美 （教育学部教授）	7月28日(日)	6時間	60名	教諭 養護教諭	全教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 峰ヶ丘講堂	
19	（英語） 英語コミュニケーションⅠ	受講者のリスニングおよびスピーキング能力向上を主たる目的とする。さらに，講習における授業形態をそのまま現場の授業で応用することが可能となるよう，年少者を対象とした歌，リズム，および様々なアクティビティーを使用する。 本講座の受講により受講者は，英語によるコミュニケーション能力を向上させ，音楽やアクティビティーを効果的に英語指導に採り入れるための知識と指導技術を修得する。	Luke　WINN （基盤教育センター非常勤講師）	8月3日(土)	6時間	20名	教諭	小・中教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟1階 ティーチング ・コモンズ	
20	（英語） 英語コミュニケーションⅡ	受講者のリスニングおよびスピーキング能力養成を主たる目的とする。さらに，講習における授業形態をそのまま現場の授業で応用することが可能となるよう，年少者を対象としたStory-telling，Role-play 等を使用する。 本講座の受講により受講者は，英語によるコミュニケーション能力を向上させ，Story-telling，Role-play 等を，効果的に英語指導に採り入れるための知識と指導技術を修得する。	Luke　WINN （基盤教育センター非常勤講師）	8月4日(日)	6時間	20名	教諭	小・中教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟1階 ティーチング ・コモンズ	
21	（共通） 教育相談の基礎となる心理療法的観点	教育相談にあたっては，児童生徒の様々な心理的側面に焦点を当てることが求められることが多い。教員は専門的カウンセラーではないので深い対応まで求められていないが，やはり最初の段階でできるだけ適確で安定的な対応をすることが望まれる。本講座は，その際に必要な心理療法的観点を解説するものである。受講者には実際の教育現場での適用に思いを馳せて，今後のさらなる学びにつなげてもらいたいと考えている。	川原　誠司 （教育学部准教授）	8月8日(木)	6時間	55名	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
22	（共通） 小・中学校における思考力・判断力・表現力育成の理論と実際	学習指導要領で重視されている「思考力・判断力・表現力育成」の在り方について概説をしたのち，小（算数），中学校（数学、英語），その他の4分科会に分かれて，小・中学生の学習の実際を授業のビデオを用いながら解説する。その後，講師と共に小集団での議論・意見交換を行う。	松本　敏 （教育学研究科教授） 立野　真一 （教育学部実地指導講師） 大塚　正也 （教育学部実地指導講師） 櫻井　光太郎 （教育学部実地指導講師）	8月8日(木)	6時間	80名	教諭	小・中教諭 （数学・英語）	宇都宮大学 **松原キャンパス** **教育学部** **附属小学校** **附属中学校**	受講申込書の講習名の後ろに括弧書きで，希望部会を手書きして提出してください。またシステムより事前アンケートにご回答ください。 ①小学校（算数） ②中学校（数学） ③中学校（英語） ④その他 **当日受付場所：** **附属中学校玄関前**

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
23	（理科） 小学校理科授業の基本	小学校理科授業を構想する際の基本を押さえるために，児童の抱く科学概念，問題解決の過程などについて解説します。物理，化学の教材を精選して観察・実験の場面を体験的に学び，指導のポイントを考察します。理科におけるものづくりの例も取り上げようと思います。おもに小学校教員（特に理科系出身でない方）を対象とします 。	人見　久城 （教育学研究科教授）	8月8日(木)	6時間	28名	教諭	小学校教諭 （特に理科系出身でない方）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	当日の持参物 文部科学省：小学校学習指導要領(平成29年告示)解説理科編，東洋館出版社(2018).
24	（保健体育） 体育の実技指導に活かす運動観察と授業づくり	走，跳，投などの基礎的な運動について，何m投げられたか，何秒で走れたかなどの記録をもとにした数量的な評価ではなく，どのような動きが身に付いているかという質的な評価の見方について学びます。そして，体育授業における観察学習の意義やその効果的な指導について考えます。	加藤　謙一 （教育学部教授）	8月8日(木)	6時間	65名	教諭	幼・小・中・高の体育や運動部を指導する教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
25	（数学） 数学的に考える資質・能力を育成する数学授業の創造	新学習指導要領における算数科・数学科の改訂の経緯，改善点をもとに，これからの算数・数学の授業の特徴について解説する。 数学的な思考力と表現力と，各々の力の育成へ向けた授業づくりのポイントについて具体例に即して講義する。 受講者には，自身の算数・数学の授業を省察するとともに，日々の授業を「数学的に考える資質・能力」を育成する授業へ改善する糸口を見い出してほしい。	牧野　智彦 （教育学部准教授）	8月9日(金)	6時間	55名	教諭	小・中教諭 （数学）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A33	
26	（音楽） 鍵盤ハーモニカ講座	小学校の音楽の授業や合奏で用いられることの多い，鍵盤ハーモニカ演奏の講座です。教育用楽器と思われがちですが，近年はプロのプレイヤーも登場しています。この講座では，様々な奏法や演奏スタイルについて勉強し，その成果を創意工夫に満ちた魅力ある合奏や児童等の演奏技術の向上に役立てていただきたいと考えています。最後に，受講生それぞれに演奏をしていただきます。	新井　恵美 （教育学部准教授）	8月9日(金)	6時間	25名	教諭	音楽に携わる全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟2階 音楽ホール	32鍵以上の鍵盤ハーモニカをご持参ください。両手弾きにチャレンジしてみたい人は，ストラップ（ショルダーバッグの紐で可）をお持ちください。
27	（家庭） 住まいとまち環境を楽しく学ぶ	住居は生活空間であり，居住者の生命の安全を保護しています。また，外部の自然を調整するなど人間の存在にとって適切な環境を創り，家族生活の基礎としての役割を果たしています。本講義では，住居と人間生活やまち環境との関わりについて，児童生徒が楽しく学べるコツやそのためのプログラムを考えます。	陣内　雄次 （教育学部教授）	8月9日(金)	6時間	42名	教諭	小・中・高教諭 （家庭科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 8A21	受講者は，通常の筆記用具以外に，ハサミ，カッター，スティックのり，テープ，色鉛筆を持参してください。
28	（英語） 米文学の古典	米文学の古典的名作と言われているものを概観する。文学史も関係する。具体的にはベンジャミン・フランクリン，ワシントン・アーヴィングやジェイムズ・フェニモア・クーパー，ヘンリー・デイヴィッド・ソロー，ナサニエル・ホーソーン，ハーマン・メルヴィル，ウォルト・ホイットマン，エミリ・ディキンスン，ハリエット・ビーチャー・ストウなどの作品について講義する予定である。米文学の知識を習得することは英語・英語圏文化の理解に役立つ。	米山　正文 （国際学部教授）	8月9日(金)	6時間	25名	教諭	小・中・高教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
29	（理科） 中学校理科指導再考	中学生になると増えるといわれる理科嫌いとは何か，なぜ理科嫌いが起こるのかを，生徒の実態調査などのデータに基づいて考察しながら，中学校理科のあり方について考えていきます。 その上で，理科の中でも特に苦手意識が高いといわれる物理分野を中心に，実習を交えながら教材研究や指導の在り方について議論していきます。物理分野の指導に困難を感じている方，物理が少し苦手だと思っている方も気軽に受講してください。	伊東　明彦 （教育学部教授）	8月9日(金)	6時間	30名	教諭	中教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	
30	（英語） 英語コミュニケーションⅢ	受講者のリスニングおよびスピーキング能力養成を主たる目的とする。さらに，講習における授業形態をそのまま現場の授業で応用することが可能となるよう，様々なアクティビティーや，グルーピング（whole-group，small-group，pair work，individual work 等）を使用する。 本講座の受講により受講者は，英語によるコミュニケーション能力を向上させ，積極的に英語で授業を行うための知識と指導技術を修得する。	Joshua　KIDD （基盤教育センター非常勤講師）	8月10日(土)	6時間	20名	教諭	小・中教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟1階 ティーチング ・コモンズ	
31	（英語） 英語コミュニケーションⅣ	受講者のリスニングおよびスピーキング能力養成を主たる目的とし，特にトピックとして「Culture」を扱う。講習における授業形態をそのまま現場の授業で応用することが可能となるよう，様々なアクティビティー（role play，presentation，discussion 等）を使用する。 本講座の受講により受講者は，英語によるコミュニケーション能力を向上させ，さらに日本文化と英語圏の文化を比較対照して教えるための，知識と指導技術を修得する。	Joshua　KIDD （基盤教育センター非常勤講師）	8月11日(日)	6時間	20名	教諭	小・中教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟1階 ティーチング ・コモンズ	
32	（国語） 国語科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	今回の学習指導要領改訂の基本方針の一つに，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進があります。そこで，国語科における「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点に焦点を当て，これらの視点からの授業改善についての理論と実践を学んでいきます。具体的には，「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」が実現できた子供の姿をイメージし，その実現に結び付く手立てを取り入れた授業づくりを考えます。新しい学習指導要領の重点事項についても触れます。講義だけでなくグループワーク等も行う予定です。	菊地　高夫 （教育学研究科准教授）	8月11日(日)	6時間	40名	教諭	小・中教諭 （国語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 8A22	当日の持参物 ・小学校籍の方・・・文部科学省：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編，東洋館出版社 ・中学校籍の方・・・文部科学省：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編，東洋館出版社
33	（社会） ヨーロッパの歴史と宗教	ヨーロッパ・ドイツの「死と墓地の歴史」を概観します。中近世から近現代にわたって，ドイツにおける死者儀礼，埋葬方法，墓地の景観，墓地と教会の関係，墓地・埋葬の法律などが，いかに変容していったかみていきます。私の現在進行中の研究テーマですので，受講者のみなさまとともに，資料や図版を援用しつつ，問題点を抽出できればと思っております。今後，死生学が文化，教育，生活，価値感などに多大な影響を及ぼしていることを理解し，学校現場にも活用できるような内容にしたいと考えております。	下田　淳 （教育学部教授）	8月19日(月)	6時間	60名	教諭	小・中・高教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
34	（理科） 見方・考え方を育む小学校理科授業	小学校理科において子どもたちの見方・考え方を育む理科授業の在り方について考察します。特に，子どもたちが科学現象に対して持っている素朴な考え方を科学的な認識にしていく概念変換に着目した授業デザインについて検討していきます。子どもたちが持つ代表的な誤概念を扱いながら，それを科学的に妥当な考えにしていくにはどのような活動を理科授業の中で取り入れていけばよいのか，受講生の皆様と考えていきたいと思います。	出口　明子 （教育学部准教授）	8月19日(月)	6時間	24名	教諭	小教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
35	（家庭） 子ども育ちと人権	子どもたちが乳幼児期から高齢期における生活課題を通して，自らが社会的な存在としてライフスタイルをどのように築いていくかを考える時間は重要である。本時は子どもの権利とは何か，あらためて確認するとともに，昨今の子どもを取り巻く諸課題（主に性に関することを中心に：LGBT/SOGI，性，SDGs等）を解説する。その上で学内でどのような取り組みが可能かを共有したい。	艮　香織 （教育学部准教授）	8月19日(月)	6時間	40名	教諭 養護教諭	小・中・高・ 特別支援教諭 （家庭科） 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティ フロア	はさみ（またはカッターナイフ）
36	（理科） 暮らしの中の電気電子技術	電気電子技術は，今日の豊かな社会生活を支える基盤技術となっている。本講座では，目に見えない電気電子現象が私たちの身の周りや社会でどのように使われているかを，電気電子工学分野の基本的な技術要素である「電力」，「エレクトロニクス」，「通信」，「制御」の観点から説明することにより，理科の中でも生徒にとって得手不得手が分かれる電気電子工学分野に興味をもたせるためのヒントを提供する。	入江　晃亘 （工学研究科教授） 船渡　寛人 （工学研究科教授） 古神　義則 （工学研究科教授） 平田　光男 （工学研究科教授）	8月19日(月)	6時間	50名	教諭	小・中・高教諭 （理科・技術・ 工業）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A33	
37	（音楽） 指揮をより分かり易くするために	指揮は合唱，器楽合奏等において必要不可欠である。現実には奏者の指導に集中するあまり，自分の指揮法を見直す機会があまり多いとは言えないのが現状である。そこで，一度原点に立ち戻り，奏者にとって分かりやすい図形，たたき，拍の取り方から指揮者のイメージの中に音がどのように鳴っているかどうか，呼吸と照らし合わせながら検証し，講習を行う。	髙島　章悟 （教育学部准教授）	8月21日(水)	6時間	40名	教諭	音楽に携わる 全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール	譜面台と指揮棒を持参してください。 曲目　佐藤真：大地讃頌，ヨハン・シュトラウス：ラデツキー行進曲（冒頭からトリオの前まで） 【開講日変更】(2019.3.12) 8/19、8/20　→　8/21、8/22
38	（音楽） 指揮をより分かり易くするために			8月22日(木)	6時間	40名	教諭	音楽に携わる 全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール	
39	（特別支援） 障害の重い子どもとの教育的係わり合い	本講習では，障害の重い子どもとの長期間の教育実践経験を有する人を主たる対象として，重度・重複障害教育における実践研究（アクション・リサーチ）の現状と課題，特に教育的係わり合いの視点について，映像資料を用いながら解説したり，受講生相互に協議したりする。そのなかで，教育的係わり合いとは実践研究に他ならず，実践を省察し記述することが実践的見識を高めるということを先生方と共有していきたい。	岡澤　慎一 （教育学部准教授）	8月20日(火)	6時間	60名	教諭 養護教諭	特別支援教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
40	（理科） 体験し測定して学ぶ放射線	中学校第1分野で放射線について触れることを視野に入れ，身のまわりの放射性物質，一般的な放射線の性質，放射線の遮へい，放射線測定器の原理などについての知識・技能を再確認していただきます。具体的には，放射線発見から現在の放射線利用の姿までの歴史を振り返り，霧箱による放射線軌跡の可視化，放射線測定器（サーベイ・メーター）を使った身のまわりの放射線測定法の修得，金属の種類・厚みと透過放射線強度の関係のグラフ化などを行います。	山田　洋一 （教育学部教授） 岩井　秀和 （工学研究科助教）	8月20日(火)	6時間	32名	教諭	小・中・高・ 特別支援教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟2階 大会議室	

No	講習名称	概要	担当講師	期間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
41	（英語） 19世紀米国児童文学	19世紀の米国児童文学の主要作品を概観する。文学史や子供観の変遷なども関係する。米国作家が子供たちにどのような文学を提供してきたか，また，当時の社会・教育界がどのような文学が子供に望ましいと考えていたかを吟味することは，英語・英語圏文化を理解することに役立つ。具体的には「広い，広い世界」「若草物語」「ぼろ着のディック」「ハックルベリーフィンの冒険」「オズのふしぎな魔法使い」などを予定している。	米山　正文 （国際学部教授）	8月20日(火)	6時間	25名	教諭	小・中・高教諭 （英語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	
42	（保健体育） 現代の子どもたちの体格と体力	近年，子どもたちの体格や体力は以前と比べ大きく変化してきました。文科省の統計資料では肥満児と痩身児はいずれも増加を示し，標準的な体格を示す子どもたちは減少しています。また，体力はやや増加傾向にあるもののピーク時に比べ低い水準に留まっています。本講義では子どもたちの体格や体力の客観的なデータを提示し，これらが健康に及ぼす影響について解説を行います。さらに，子どもたちにとって運動と栄養の必要性についての話題も提供する予定です。まずは，子どもたちの体格・体力の現状を知ることから始まると思います。	小宮　秀明 （教育学部教授）	8月20日(火)	6時間	55名	教諭 養護教諭	小・中・高教諭 （保健体育） 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A11	
43	（共通） 心のバリアフリーに焦点をあてた福祉教育の実践的検討	高齢者や障害者の疑似体験に取り組む学校は多い。その実施にあたっては多くの課題を検討し，準備する必要があるが，具体的に実践に即して検討する機会はほとんどないのが現状である。そこでこの講習では，主として公共交通の利用場面に焦点をあて，交通弱者の置かれている状況を理解するための「心のバリアフリー」の推進に向けた授業のあり方について，国土交通省の協力を得て，実車(ノンステップバスや福祉タクシーなど)を利用して実践的な検討を行う。	長谷川　万由美 （教育学部教授）	8月22日(木)	6時間	60名	教諭 養護教諭	全教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟2階 大会議室	・バス等での模擬体験がありますので，動きやすい服装で参加してください。また，万一の事故に備えて傷害保健等にご加入ください。 ・野外での実習がありますので，帽子等暑さ対策をお願いいたします。 ・アイマスク使用のため，薄手のハンカチをお持ちください。 【開講日決定】(2019.3.12) 8/22開講
44	（国語） 表現技法を明確にした作文指導	作文を苦手とする児童生徒は多く，また作文指導に不安を抱く教員も多い。本講習では，西洋で1500年（2世紀～17世紀）にわたって行われた，「プロギュムナスマタ」と呼ばれる論理的文章の訓練方法を，現代風にアレンジし演習形式で行う。「プロギュムナスマタ」は，表現技術が明確化された系統的な作文カリキュラムである。実際に作文を書いていただくだけでなく受講生間の相互評価も予定しているので，積極的に参加していただきたい。	森田　香緒里 （教育学部准教授）	8月21日(水)	6時間	55名	教諭	小・中・高教諭 （国語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	
45	（理科） ICTを活用した地学の教材講習	理科の他の分野（物理・化学・生物）と異なり，教室内で実物の観察や実験が難しい地学分野における①地形・地質，②気象，③天文分野を主たる対象として，ICT（PCやタブレット等）を活用した教材案を紹介します。	瀧本　家康 （教育学部助教）	8月21日(水)	6時間	20名	教諭	中・高教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館C棟3階 理科教育学 学生実験室	
46	（保健体育） 保健授業を活性化させるための方策	学校における健康教育の中核である，教科としての保健の授業を活性化するための方策について，次期学習指導要領で示された内容等を踏まえながら議論する。その際，「主体的・対話的で深い学び」の観点からの学習活動の工夫については重視して扱う。なお講習では，受講者によるグループワーク等も適宜取り入れながら進める。	久保　元芳 （教育学部准教授）	8月21日(水)	6時間	60名	教諭 養護教諭	小・中・高教諭 （保健体育） 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A33	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
47	（美術） 生活をかたちづくる美術	人々が自分たちの身の回りの場やものをより良くしていこうとする活動・・・そんなヴァーチャルではなくリアルを形づくってきた美術の初心を振り返るところからはじめ，講義と実技を交えながら，美術そして美術教育の本質的な意義について改めて考えてみたいと思います。	梶原　良成 （教育学部教授）	8月22日(木)	6時間	30名	教諭	小・中・高教諭 （美術）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館B棟1階 図画工作室	
48	（共通） 情報化は若者をどう変えたか－多元的自己，スクールカースト，居場所－	スマホやインターネット，SNSなどによるコミュニケーション手段が広がることによって，若者のコミュニケーションの在り方が変化している。それが若者のアイデンティティや人間関係にどのような変化をもたらしたか，多元的自己やスクールカースト，居場所などをキーワードとして現状を理解し，教育現場ではそうした現状にどのように向き合っていったらよいか，情報を交換し対策を考察したい。	小原　一馬 （教育学部准教授）	8月22日(木)	6時間	60名	教諭	全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティ フロア	【開講日変更】(2019.3.12) 8/23　→　8/22
49	（音楽） 鍵盤ハーモニカ講座	小学校の音楽の授業や合奏で用いられることの多い，鍵盤ハーモニカ演奏の講座です。教育用楽器と思われがちですが，近年はプロのプレイヤーも登場しています。この講座では，様々な奏法や演奏スタイルについて勉強し，その成果を創意工夫に満ちた魅力ある合奏や児童等の演奏技術の向上に役立てていただきたいと考えています。最後に，受講生それぞれに演奏をしていただきます。	新井　恵美 （教育学部准教授）	8月23日(金)	6時間	25名	教諭	音楽に携わる 全教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 7号館A棟2階 音楽ホール	32鍵以上の鍵盤ハーモニカをご持参ください。両手弾きにチャレンジしてみたい人は，ストラップ（ショルダーバッグの紐で可）をお持ちください。
50	（共通） 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を考える	幼稚園教育要領改訂では5領域の内容等を踏まえ，特に5歳児後半にねらい達成のために教員が指導し幼児が身に付けていくことが望まれるものを10項目の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と整理した。これは5歳児後半の評価の手立てとなるだけでなく幼児教育と小学校教育との接続の強化が図られることが期待されている。本講座では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体的に示しながら実際の保育にどういかしていくかを考える。	五十嵐　市郎 （教育学部附属幼稚園副園長）	8月23日(金)	6時間	70名	教諭 養護教諭	幼・小教諭 養護教諭	宇都宮大学 峰キャンパス 国際学部 5号館B棟1階 5B11	
51	（国語） 国語教材化と国語科の授業	国語教育を考える上での基盤となる内容について，演習形式を中心にして実践的に考察を進める。講習参加者それぞれが持っている実践上の課題や，異なる教育現場での経験をもとに交流も図りつつ，これからの国語教育を展望していく場にしたい。	飯田　和明 （教育学部准教授）	8月26日(月)	6時間	55名	教諭	小・中・高教諭 （国語）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	
52	（理科） たのしくわかる化学実験のコツ	中学校理科第1分野，及び高等学校化学分野の実験の中からいくつかの教材を精選して，体験的に知識を再確認して戴きます。教科書で扱う化学実験の初歩から発展的なものまで順を追って，安全・確実に実験を成功させるノウハウを説明します。ねらい：「たのしくわかる化学実験」の「わかる」という部分について，「何をどのように分からせるか」考えることも有意義でしょう。	山田　洋一 （教育学部教授）	8月26日(月)	6時間	32名	教諭	小・中・高・ 特別支援教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟2階 8A21	受付・会場1：8号館A棟2階 8A21 会場2：8号館C棟2階 化学学生実験室 白衣，又は実験に適した服装を準備してください。

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
53	（理科） 表面の化学 【 不 開 講 】	液体や固体には必ず表面が存在しますが，そこでは内部とは異なる興味深い性質が現れます。私たちの普段の生活でも，この表面の性質に由来するさまざまな現象を見たり，利用したりしていますが，そこにある化学にはなかなか気付かないかもしれません。本講習では，身の周りの表面現象を化学の観点からどう解釈することができるかという点に主眼を置き，いくつかの例を取り上げつつ，基礎的内容を中心に分析法なども交え分かりやすく解説します。	飯村　兼一 （工学研究科教授） 鈴木　昇 （工学研究科教授）	8月27日(火)	6時間	50名	教諭	小・中・高教諭 （理科）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	
54	（共通） わが国の稲作技術と経営	米作りは多くの小学校で体験学習として取り入れられている。しかしながら，単なる農作業体験で終わっていることが多い。指導をする先生方が日本の稲作の現状をより正しく理解しておくことによって，児童が米作りの体験学習を通じて，作業体験のみにとどまらず様々な角度から稲作をより深く理解できる様々な素材を提供できるものと考えている。また，中学校や高等学校の先生方にも有意義な内容になるように努めたい。	高橋　行継 （農学部准教授）	8月28日(水)	6時間	50名	教諭	小・中・高教諭 （社会・理科・ 公民・農業）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館A棟3階 8A31	【任意提出】 ご自身の学校等で田植え体験などの農業関係行事を実施されている先生は，事前に概要（栽培作物，対象学年，スケジュール，日常の管理，教材としての活用程度，収穫物の試食など）をまとめてご紹介下さい。 提出先：8月21日（水）までに メールでご連絡ください。 （takahashi@cc.utsunomiya-u.ac.jp） 頂いた資料は講義材料とさせていただきます。僭越ながら，優れている点や改善点など評価いたします。ご希望により，学校名などは伏せさせていただきます。
55	（共通） プログラミング入門	小学校は2020年度，中学校は2021年度から実施される新学習指導要領では，義務教育におけるプログラミング教育が必修化される。本講義は，プログラミングの初心者に対し，教員はアルゴリズムだけでなくコーディングも理解させ，センサーを使ったプログラミングを体験し，修得することを目的とする。	松原　真理 （教育学部教授）	8月28日(水)	6時間	30名	教諭	小・中教諭 （プログラミング 未経験者）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館F棟2階 教育実践 総合センター 計算機室	
56	（数学） 初等整数論	本講習では，整数論の入門として合同式についての講義を行い，学校教育における数学科（主に「整数の性質」）の内容の背景にある理論について，演習を交えながら解説する。本講習の目的は，フェルマーの小定理やオイラーの定理について理解し応用できるようになること，そして素数の持つ美しい性質について見識を深めることである。	鈴木　拓 （教育学部助教）	8月29日(木)	6時間	55名	教諭	中・高教諭 （数学）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 6号館A棟1階 6A12	
57	（美術） 美術史研究と美術作品の見方	この講習では美術史研究の学的展開とそこから導かれる観点を整理し，美術史上の重要な作品や教科書掲載作品などから導かれる美術概念やその特性などを分析する。それらが単なる知識理解を超えた美術作品の見方を提示し，図画工作・美術の表現と鑑賞の題材にどのように関わるかを受講者とともに考察，検討する。	本田　悟郎 （教育学部准教授）	8月30日(金)	6時間	32名	教諭	小・中・高教諭 （美術）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館B棟1階 図画工作室	

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
58	（共通） 私達の暮らしの中の建築と土木	私達の暮らしは，建築と土木の技術によって支えられ，安心・安全・便利に，健康で心豊かな生活を送ることができます。建築・土木の扱う範囲は広く，建築は住宅から大規模ビル・街区・都市・地域，土木は自然環境・社会基盤施設・都市・地域・国土に及びます。本講座では，日頃当たり前に利用している暮らしの中の建築技術，土木技術の原理や仕組みを説明するとともに，災害への対応を含めた持続可能な未来のために開発されている最新技術を紹介します。特別な専門知識は必要ありません。	中島　史郎 （地域デザイン科学部教授） 大嶽　陽徳 （地域デザイン科学部助教） 清木　隆文 （地域デザイン科学部准教授） 近藤　伸也 （地域デザイン科学部准教授）	8月30日(金)	6時間	55名	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	
59	（共通） C言語プログラミング入門	本講習では，プログラミング言語の一つであるC言語の基礎知識や基本文法を学びます。ソフトウェア（プログラム）作成には，ハードウェアの知識も必要となるため，初めに，コンピュータの簡単な仕組みについて解説した後，プログラミングの実習を行います。プログラミングでは，Microsoft Visual Studio 2015を使用します。本講習は，初めてプログラミングまたはC言語を学ぶ受講生を対象としています。	外山　史 （工学研究科准教授）	8月30日(金)	6時間	25名	教諭	小・中・高教諭	宇都宮大学 陽東キャンパス 情報工学科 ネットワーク実験室Ⅰ （9-204）	
60	（美術） 水彩画の基礎技法	水彩絵具の素材の特長を踏まえ，図画工作や美術における水彩画に関する題材や児童，生徒に描画を指導する上でのポイントについて講義します。 また，幾つかの簡単な題材を通して水彩画の基本的な描き方を教授します。それにより，素材の使用法や描画手順の違いによる作品の印象の違いについて触れます。	株田　昌彦 （教育学部准教授）	9月7日(土)	6時間	30名	教諭	小・中教諭 （美術）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館B棟1階 図画工作室	・水彩用具一式 （絵具，筆，パレット，雑巾，水入れ） ・スケッチブック（F4号～F6号程度） ・鉛筆 ・消しゴム
61	（保健体育） アクティブ・ラーニングの考え方と授業づくりの実際（ゲーム・ボール運動を中心に）	体育授業における「主体的・対話的で深い学び」をテーマに，これからの体育に求められる理論や学習観，方法論を学びます。その際に授業づくりのアイデア等を紹介しながら理解を深めます。また，理論的な内容に加えて実践的な理解も深めるため実技を通した内容も行います。特に小学校のゲーム・ボール運動領域の内容を中心に中学校の球技につながる内容を取り上げて学びたいと考えています。	石塚　諭 （教育学部講師）	9月14日(土)	6時間	40名	教諭	小・中教諭 （保健体育）	宇都宮大学 峰キャンパス 教育学部 8号館E棟1階 8E11	午前：8E11 午後：第一体育館 持ち物：運動着，運動靴 （体育館使用予定，運動時は見学も可）
62	（理科） 人々の生きる基盤である土を体験的に学ぶ方法 【 不 開 講 】	「教科書から土が消えている」と題した文章を雑誌「科学」（岩波書店）の国際土壌年特集号（2015）において寄稿した。児童や生徒・学生への土に関するアンケート調査結果から，土への関心が学年進行とともに低くなる傾向等，多くの知見を得た。その研究結果をもとにし，土への関心を高める授業を具体化し，体験的に土を学ぶ方法を紹介する。また，水田において，水稲を支える表土を観察し，一年間の自分の命を支える表土の面積を実感したり，水田に水を供給する森林土壌の断面を観察したりする。	平井　英明 （農学部教授）	9月14日(土)	6時間	28名	教諭	小・中・高教諭 （理科）	宇都宮大学 農学部 附属農場	受付：UUプラザ2階 コミュニティフロア 出席確認後，バスで附属農場へ移動します。昼食を持参ください。また汚れてもよい服装と靴，軍手，熱中症対策として，帽子，タオル，飲み物等の準備をお願いします。

選択領域（2020年2月実施講習）

No	講 習 名 称	概　　要	担 当 講 師	期　　間	時間数	定員	対象職種	主な受講対象者	会場	準備物・課題等
63	（共通） 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校における教育実践の理論と実際	本講座では，宇都宮大学教育学部附属特別支援学校（以下，附特）における教育実践の実際とそれを支える理論的枠組みについて多面的に検討を重ねます。受講生は，附特の公開研究会に参加するとともに，当日，その前後に附特研究主任および共同研究者である大学教員の講義を受講することで，附特の教育実践をより深く理解し，学校種や障害種の違いを越えた特別支援教育における実践的見識を重ねられることと思います。	岡澤　慎一 （教育学部准教授） 池本　喜代正 （教育学部教授） 石川　由美子 （教育学部准教授） 司城　紀代美 （教育学研究科准教授）	2020年 2月15日（土）	6時間	50名	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	宇都宮大学 宝木キャンパス 教育学部 附属特別支援学校	※申込期間が異なります。 詳細はHPをご覧ください。